

6 本時の学習 (3 / 5 時間)

- (1) 本時の目標 身近な「料理」に関する題材をイメージして表現し、友だちのよい動きを見つけながら運動に取り組むことができる。
- (2) 育てたい資質・能力 相手の人権を尊重し、なかよく助け合って生活することができる。 (技能的側面ウ)
- (3) 目指す児童像 班の友だちと話し合い、息を合わせて運動しながら、互いに友だちの動きのよさを伝え合うことができる。
- (4) 展開

過程	時間	学習活動	指示や発問 (T)、児童の反応 (C)	指導上の留意点 (☆) 人権が尊重される授業づくりの視点 (・)	備考
つかむ	10分	1 あいさつ、用具や場の準備をし、準備運動 (リズムダンス) を行う。 2 基礎感覚づくりを行う。 ・ ミラーゲーム、なりきりごっこなど 3 本時のめあてを確認する。	T: それでは、始めましょう。 C: 今日は、もっと大きく動くぞ。 T: 今日は、料理になって「変化」する動きについて考えて動きましょう。	☆前時までの学習を単元計画表や使用した資料を用いて説明し見通しを持たせる。 ☆めあての意味を理解できるように、視覚的な資料を準備し、簡単な説明を行う。	単元計画表 CD カード 場の説明
考える	10分	4 イメージかたを使いながら、いろいろな動きについて学ぶ。 ※主に対比する動きや速さの変化について学び、表現する。 【言語活動】(設定の意図) 自分の動きを確かめることが難しいため、イメージして動いたことを友だちに見てもらおう必要があるから。	T: 自分のめあてを確認しながら、変身の修行に取り組みます。 C: 今日も自分の動きをたくさん見つけるぞ! T: (前回は対比について知りましたが、) そのほかにもどんなおもしろい動きができるだろう? ※必要に応じて動きを見せながら指導する。 C: 止まったり、スピードを変えたりしてみよう。	・児童が適切にめあてを立てているか事前・事中に確認し、助言や支援を行う。 存 ☆どのような運動をどの程度するのか、あるいは、発展的な課題や運動のコツなどがわかるように運動する箇所に説明板を設置する。 ☆音楽を流し、リズムに乗って、運動を行うことによって、主体的に活動できるようにする。	学習カード 移動黒板 BGM
		5 料理に関する題材をイメージして、即興で表現する。 ※ まず、個人で動いてみる。→ペアやグループで見せ合う。→動きのよさについて話し合いながら、動きをつなげて形づくり。 ※ よさ=特徴に着目し、考えを出し合う。	T: みなさんの班は、どんな変化がつけられますか。今日は、対比とスピードの変化を考えて料理になります。 C: 止まったり、早く動いたりしてみよう。 C: あっ、今回の感じいいよね。 T: グループで見せ合って、友だちの動きの良いところについて話してみよう。(まねしてやってみよう。)	・チームのイメージボードやイメージかたをもとに話し合って、動きを考えたり、選んだりし合えるように声かけを行う。 共・決 ・動きのよさを見つけるよう指示する。 共	チームのイメージボード
深める	10分	6 なりきりクッキングの動きをペアのチーム(同じ題材)に見せる。 ※ ①見せ合う ②伝え合う ③ミニ反省会という流れの後、交代して見合う。 ※ 時間があれば、動きを確認し合う。	T: 自分たちの班のできた動きをペアのチームと見せ合いますよ。 T: どんな動きのよさ(対比や変化)があるのか考えながら見合います。 C: すごい。納豆のネバネバがスピード変えてできてい	【評価】思考・判断② B 友だちのよい動きを見つけながら、運動に取り組むことができる。 ※A(対比や変化)を付加 ・どのような動きをするのかについて説明させた上で、それぞれの発表する。 共 ・アドバイスを聞き、発表に生かす。 決	チームのイメージボード
まとめる	2分	7 用具の片付けや整理運動を行う。	T: さあ、みんなで力を合わせて片付けをしましょう。 C: 今日も楽しかったなあ。 C協力して片付けよう。	☆安全を確かめ、慎重に片付けるよう指示する ☆体の調子を整えさせる。	
	5分	8 学習カードに記入し、感想を発表する。	T: 変化をつけながらなりきりクッキングができましたか? C: そうだ。○○くんと一緒に納豆になりきれたぞ。 C: 次は、発表会の準備をがんばるぞ。	・自信を持って発表できるように事前に学習カードを確認しておく。 存	学習カード
		9	9 次時への見通しを持たせる。		

人権教育の視点からの評価: 深める段階で、友だちと話し合ったり、息を合わせて動いたりする活動を通じて、一緒に表現し、形づけていくことの意味やよさに気づくことができる。(観察・学習シート・班のまとめ)